

創立20周年記念誌

豊かな発想  
楽しい工作  
世界をリードにっぽん



淡路少年少女発明クラブ

## 目 次

挨拶 淡路少年少女発明クラブ 会長 森 和重	1
祝辞 淡路市長 門 康彦	2
祝辞 (社)発明協会 兵庫県支部長 家次 恒	3
科学技術基本法 (抜粋)	4
淡路少年少女発明クラブ規約	5～7
平成12年度～平成22年度クラブ役員	8～10
平成12年度～平成22年度クラブ員名簿	11～12
平成12年度～平成21年度活動結果報告	13～22
副会長・運営・指導員からのメッセージ	
堀口 純	23
石井 良宗	24
三津 清	25
廣瀬 幸治	26
梅原 隆之	27
西川 玉士	28
小堀 禎員	29
中之内 肇	30
春木 正己	31
森岡 達	32
新聞報道記事	33～34
公開発明教室	35
アイデア工作風景	36～38
島内・島外体験学習	39
受賞記録	40～41
全国会議・近畿ブロック会議	42
指導資料集	43～50
編集後記	52

## 失敗は成功のもと

会 長 森 和 重



淡路少年少女発明クラブの前身である「津名町少年少女発明クラブ」が、平成2年7月21日、全国で110番目のクラブとして発足して以来、本年度で創立20周年を迎え、この度、記念誌を発行する運びとなりました。

この間、日本の学校においては、「理科離れ」がささやかれるようになりました。工業原料やエネルギー資源が乏しく科学立国を目指す日本にとっては、憂慮すべきことです。

発明王と言われるトーマス・エジソンの名言に「失敗すればするほど、我々は成功に近づいている。」また、「私は失敗したことがない。ただ1万通りのうまく行かない方法を見つけただけだ。」という言葉があります。

エジソンの言葉のような失敗続きの地味な努力を要する科学や発明の世界は、今の若者には受けないのかも知れません。しかし、努力なしで得られるものはありません。子どもたちが自己実現を図っていくためには、努力とその継続しかないのです。

発明は人々の生活を便利に豊かにします。電球の発明は、人類の夜をそれまでの油よりももっと明るく照らしてくれました。人類の生活に電気を取り入れた最初の出来事でした。

発明クラブは、ただ物作りをするものではありません。人々の生活に役立つものは何かを考え続けます。そして、失敗から学ぶことを通して、確かな科学知識を身に付けていきます。同時に、多くの仲間や指導者との人間的なふれあいを通して、豊かな感性を身に付けていきます。

今後とも、子どもたちに豊かな創造性と人間性を育む「淡路少年少女発明クラブ」の発展により一層のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、本クラブの指導員の方々をはじめ、記念誌の発行にご協力いただいた皆様方に感謝し、ご挨拶といたします。

## 淡路少年少女発明クラブ 創立20周年を祝して

淡路市長 門 康彦



創立20周年を心からお祝い申し上げます。

20年前と言えば、東西ドイツが一つに戻り、連邦共和国が誕生した年でした。そして、貴クラブが10周年を迎えた時は、名称が、「津名町少年少女発明クラブ」でした。当時は、淡路島は1市10町体制、20周年の歴史の流れの中で、淡路島は幾多の選択肢の中から、とりあえず3市体制を選択し、今が在ります。

淡路市は、旧の津名、一宮、北淡、淡路、東浦の5町が合併し、約5万人の市が誕生したわけです。

こうした過渡期にあって、取り巻く社会環境は、国際化時代の進展、高度情報化時代の長足な進歩であり、故郷淡路は、過疎、少子、高齢化が益々進行している状態です。

私達の故郷が、美しく豊かな郷になるためには、自らの力で革新的な技術を開発育成していくことが重要であり、特に、明日の淡路市を担う青少年の創造性を開発育成していくことが大切です。

本年、淡路市は合併5周年祝賀会を催すことになっています。まさに歴史の流れの中で、貴クラブと淡路市が一つの縁により結ばれています。

淡路市は今、世界的観光立島・淡路市を標榜し、将来に向かっての取り組みとして、観光、環境、産業、歴史文化を四つのキーワードに、戦略モデルを展開しています。

これは、考え、創るという発明クラブの理念と一致するものであります。

そうした観点からも、創造性豊かな人間形成を目的としてこれまで活動を続けてこられました。更に、公私協調することにより、20周年を契機に、貴クラブの更なる発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

## 淡路市少年少女発明クラブ 創立20周年をお祝いして

社団法人発明協会兵庫支部  
支部長 家次 恒



淡路少年少女発明クラブのみなさん、創立20周年を迎えられ、まことにおめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

これはひとえに歴代会長をはじめ教育委員会、指導員の方々等関係各位のご努力の賜物と存じます。

発明協会では、昭和49年から少年少女発明クラブの設立を進め、現在205クラブ、約9000人が将来科学技術立国日本を担うべく活動しています。また、兵庫県下では、現在4クラブが設立され、みなさんの淡路少年少女発明クラブは、平成2年7月21日兵庫県下2番目のクラブとして創設されました。

淡路の子供たちに、創造する喜びと科学する心を養ってもらいたいと、理科や技術家庭科の先生、企業で特許や発明の仕事をされていた方々が指導員となり、活動を続けて来られたと聞いております。

この20年間で子供たちを取り巻く環境が随分変わってきました。いわゆる「ゆとり教育」で、学校での理科・社会の授業時間が減る一方、週休2日制の導入は、保護者の方々にとって土日の過ごし方が課題となっていました。そんな中、ここ淡路市では教育委員会や地域の方々が、おだまき館に発明創作の場として絶好の場所を提供いただき、自然の恵みと、科学する心で、確かな成果を生み出されてきました。数多くの先輩が巣立ち、現在社会人となり多方面で創造力を発揮されていることと存じます。

我が国は、いま少子高齢化社会が問題になっていますが、淡路少年少女発明クラブでは、子供たちの好奇心と熟年者の知恵が融合する場所として、地域社会に根付いていると存じます。これらの情熱は、若き指導者に引継がれ、歴史を積み重ねられ、ますます発展される事を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

創立20周年を心からお祝い申し上げます。

## 第1章 総則

(目的)

第1条 この法律は、科学技術（人文科学のみに係るものを除く。以下同じ。）の振興に関する施策の基本となる事項を定め、科学技術の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進することにより、我が国における科学技術の水準の向上を図り、もって我が国の経済社会の発展と国民の福祉の向上に寄与するとともに世界の科学技術の進歩と人類社会の持続的な発展に貢献することを目的とする。

(科学技術の振興に関する方針)

第2条 科学技術の振興は、科学技術が我が国及び人類社会の将来の発展のための基盤であり、科学技術に係る知識の集積が人類にとっての知的財産であることにかんがみ、研究者及び技術者（以下「研究者等」という。）の創造性が十分に発揮されることを旨として、人間の生活、社会及び自然と調和を図りつつ、積極的に行われなければならない。

2 科学技術の振興に当たっては、広範な分野における均衡のとれた研究開発能力の涵養、基礎研究、応用研究及び開発研究の調和のとれた発展並びに国の試験機関、大学（大学院を含む。以下同じ。）、民間等の有機的な連携について配慮されなければならない。また、自然科学と人文科学との相互のかかわり合いが科学技術の進歩にとって重要であることにかんがみ、両者の調和のとれた発展について留意されなければならない。

(地方公共団体の責務)

第4条 地方公共団体は、科学技術の振興に関し、国の施策に準じた施策及びその地方公共団体の区域の特性を生かした自主的な施策を策定し、及びこれを実施する責務を有する。

## 第5章 科学技術に関する学習の振興等

第19条 国は、青少年をはじめ広く国民があらゆる機会を通じて科学技術に対する理解と関心を深めることができるよう、学校教育及び社会教育における科学技術に関する学習の振興並びに科学技術に関する啓発及び知識の普及に必要な施策を講ずるものとする。

(設置)

第1条 少年少女に科学的な興味、関心を追及する場を提供し、自由な環境の中で創作活動を行い、作品を完成させる喜びを体得させ、科学的発想に基づく生活態度を育成すると共に、創造性豊かな人間形成を図ることを目的として淡路少年少女発明クラブ（以下「発明クラブ」という。）を設置する。

(所在)

第2条 発明クラブは、淡路市中央公民館（しづのおだまき館）内とする。

(活動)

第3条 発明クラブは、第1条の目的達成のため次の各号に該当する活動を行う。

- (1) 少年少女が本来持っている独創性を出来るだけ発揮させるよう、楽しみながら自由な発想で製作活動をする。
- (2) 特定のテーマで、みんなで創意工夫をしながら製作活動をする。
- (3) 発想、計画、集団討議や技術の指導を受けながら、科学的な見方や考え方を学ぶ。
- (4) 作品は、懇談会などで保護者（父母等）に紹介するほか淡路少年少女発明クラブ創作展等を開催し、一般にも広く公開する機会を設ける。
- (5) その他発明クラブの目的達成に必要な活動を行う。

(会長及び副会長)

第4条 発明クラブに会長及び副会長各1名を置く。

- 2 会長は、社団法人発明協会の会長が委嘱し、副会長は、第7条に規定する委員のうちから、発明クラブ会長が選任する。
- 3 会長は、発明クラブの会務を総理し、発明クラブを代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

(委員会の設置)

第5条 発明クラブに発明クラブ企画運営委員会（以下「委員会」という。）を設置し、発明クラブの運営に当たる。

(委員会の目的)

第6条 委員会は、発明クラブの活動に関する以下の企画及び運営の基本事項を審議する。

- (1) 年間計画に関すること
- (2) 安全対策に関すること
- (3) その他運営に関すること

(委員の構成及び選任)

第7条 委員会の委員は、次の各号に掲げる者のうちから会長が選任する。

- (1) 学識経験者
- (2) 教職員、教職員経験者
- (3) 理工系の職業従事者、及びその経験者
- (4) 社団法人発明協会の職員
- (5) 淡路市教育委員会の職員
- (6) その他会長が必要と認めた者

2 委員会に次の役員を置く。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 1名
- (3) 会計監査 2名

3 委員長に発明クラブ会長、副委員長に副会長があたる。

4 委員長は委員会の会務を掌理し、副委員長は委員長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

5 会計監査は委員の互選により定める。

(任期)

第8条 会長（委員長）及び副会長（副委員長）並びに委員の任期は、2年とする。

ただし、再任は妨げない。

2 任期中であっても会長の職責が全うし得ない事情が生じたとき、または辞任の申し出があったときは、委嘱を解くことができる。

3 補欠により就任した者の任期は、第1項の規定にかかわらず前任者の残任期間とする。

(会議)

第9条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会は定例委員会及び臨時委員会とし、定例委員会は毎年1回、臨時委員会は委員長が必要と認めるとき招集する。

3 委員会は委員の過半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。

4 委員会の委員は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の議決するところによる。

(指導員)

第10条 発明クラブに発明クラブ員の指導を行うため、指導員を置く。

2 指導員は、発明クラブ会長が委嘱する。

(指導員の任期)

第11条 指導員の任期は、第8条第1項に規定する任期を準用する。

(費用弁償)

第12条 第4条第2項に規定する会長及び第7条に規定する委員並びに第10条に規定する指導員に、費用弁償支給することができる。

2 前項の費用弁償の支給に必要な事項は、委員会の議決を経て会長が別に定める。

(開講期間等)

第13条 発明クラブの開講期間は、毎年4月から翌年3月までの間とする。

2 開講日は、原則として月2回を基準とする。ただし、学校等の長期休業中は、別途の計画で開講する。

(対象)

第14条 発明クラブの会員は、淡路市在住の小学校3年生から6年生までの児童とし、30人を定員とする。

2 入会申し込みがあったときは、所定の審査を経て発明クラブの目的達成を阻害する者でないことを確認できたとき受付を受理します。

(事務局)

第15条 発明クラブの事務局を淡路市中央公民館内に置く。

2 委員会の庶務は、事務局において処理する。

(入会申し込み)

第16条 入会の申し込みは、保護者が入会申込書に所定の事項を記入・押印のうえ、添えて事務局に提出する。年会費は、第14条の3の審査で受付受理後に徴収します。

2 入会は欠員が生じたときに募集するものとする。

(年会費)

第17条 上期2,500円、下期2,500円とし、製作に必要な共通教材費、及び傷害保険費用に充てる。ただし、体験学習（島外）の費用等は、自己負担を一部必要とします。

2 年度途中の退会については、いかなる場合においても会費は返還しないものとする。

(年度会計)

第18条 発明クラブの会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(委任)

第19条 この淡路少年少女発明クラブ規約の施行に必要な事項は、会長が委員会に諮って定める。

(私物の取り扱いについて)

第20条 私物の取り扱いについては自己責任の元で管理するものとする。

附則

1 この規約は、平成19年12月1日から施行する。

2 事務局の設置場所を15条1項のとおり改定する。平成22年4月1日から施行する。

3 14条1項の4年を3年に改める。また、2項を全削除し、同3項を2項と改める。平成22年3月31日から施行する。

# 企画運営委員・指導員名簿

## 平成12年度

役 職	氏 名	所 属
会 長	柏木和三郎	津名町長
副 会 長	砂川 功	津名町教育長
企画運営委員長	堀口 純	津名生穂郵便局長
副 委 員 長	石井 良宗	三和製作所社長
委 員	大靱 薫弘	津名町教育委員長
委 員	岬 和宏	ミサキ電機社長
委 員	長尾 敏彦	津名町社会教育課長
委 員	野上 英次	栄自動車整備工場社長
委 員	梅原 隆之	北淡リサイクルセンター所長
指 導 員	廣瀬 幸治	廣瀬一級建築士事務所長
指 導 員	稲室 義直	佐野公民館長
指 導 員	石上 晉	志筑公民館長
指 導 員	西川 玉士	津名中学校教頭
指 導 員	小堀 禎員	中田小学校教諭
指 導 員	向田 卓司	生穂第一小学校教諭
事 務 局	中村 貴志	
事 務 局	阪上 知之	

## 平成13年度

役 職	氏 名	所 属
会 長	柏木和三郎	津名町長
副 会 長	西岡善一郎	津名町教育長
企画運営委員長	堀口 純	津名生穂郵便局長
副 委 員 長	石井 良宗	三和製作所社長
企画運営委員	大靱 薫弘	津名町教育委員長
企画運営委員	岬 和宏	ミサキ電機社長
企画運営委員	久保 恵司	津名町社会教育課長
兼 指 導 員	野上 英次	栄自動車整備工場社長
兼 指 導 員	梅原 隆之	北淡リサイクルセンター所長
指 導 員	廣瀬 幸治	廣瀬一級建築士事務所長
指 導 員	稲室 義直	佐野公民館長
指 導 員	石上 晉	前志筑公民館長
指 導 員	西川 玉士	津名中学校教頭
指 導 員	小堀 禎員	志筑小学校教諭
指 導 員	向田 卓司	中田小学校教諭
事 務 局	阪上 知之	
事 務 局	高濱 健治	

## 平成16年度

役 職	氏 名	所 属
会 長	柏木和三郎	津名町長
副 会 長	佐藤 隆夫	津名町教育長
企画運営委員長	堀口 純	津名生穂郵便局長
副 委 員 長	石井 良宗	三和製作所会長
企画運営委員	大靱 薫弘	津名町教育委員長
企画運営委員	岬 和宏	ミサキ電機社長
企画運営委員	瀧 宗生	津名町社会教育課長
兼 指 導 員	野上 英次	栄自動車整備工場社長
兼 指 導 員	梅原 隆之	北淡リサイクルセンター所長
指 導 員	廣瀬 幸治	廣瀬一級建築士事務所長
指 導 員	稲室 義直	佐野公民館長
指 導 員	石上 晉	前志筑公民館長
指 導 員	西川 玉士	塩田小学校教頭
指 導 員	小堀 禎員	沼島中学校教頭
指 導 員	向田 卓司	淡路文化会館勤務
指 導 員	石井 良和	津名町社会教育課
指 導 員	実野 勝久	阡鈴社
指 導 員	藤本 佳幸	三原町教育委員会
事 務 局	道満 順一	
事 務 局	細田 和義	

## 平成17年度

役 職	氏 名	所 属
会 長	内海 孝	淡路市教育長
副 会 長		
企画運営委員長	堀口 純	津名生穂郵便局長
副 委 員 長	石井 良宗	三和製作所会長
企画運営委員	岬 和宏	ミサキ電機社長
企画運営委員	野上 英次	栄自動車整備工場社長
兼 指 導 員	梅原 隆之	北淡リサイクルセンター所長
指 導 員	廣瀬 幸治	廣瀬一級建築士事務所長
指 導 員	稲室 義直	前佐野公民館長
指 導 員	石上 晉	前志筑公民館長
指 導 員	西川 玉士	塩田小学校教頭
指 導 員	小堀 禎員	大町小学校教頭
指 導 員	向田 卓司	淡路文化会館勤務
指 導 員	石井 良和	津名地域教育課勤務
指 導 員	実野 勝久	阡鈴社
事 務 局	福條 昌孝	
事 務 局	阪上 知之	

## 平成14年度

役 職	氏 名	所 属
会 長	柏木和三郎	津名町長
副 会 長	西岡善一郎	津名町教育長
企画運営委員長	堀口 純	津名生穂郵便局長
副 委 員 長	石井 良宗	三和製作所社長
企画運営委員	大靱 薫弘	津名町教育委員長
企画運営委員	岬 和宏	ミサキ電機社長
企画運営委員	雉鼻 千年	津名町社会教育課長
兼 指 導 員	野上 英次	栄自動車整備工場社長
兼 指 導 員	梅原 隆之	北淡リサイクルセンター所長
指 導 員	廣瀬 幸治	廣瀬一級建築士事務所長
指 導 員	稲室 義直	佐野公民館長
指 導 員	石上 晉	前志筑公民館長
指 導 員	西川 玉士	津名中学校教頭
指 導 員	小堀 禎員	沼島中学校教頭
指 導 員	向田 卓司	中田小学校教諭
事 務 局	阪上 知之	
事 務 局	高濱 健治	

## 平成15年度

役 職	氏 名	所 属
会 長	柏木和三郎	津名町長
副 会 長		津名町教育長
企画運営委員長	堀口 純	津名生穂郵便局長
副 委 員 長	石井 良宗	三和製作所会長
企画運営委員	大靱 薫弘	津名町教育委員長
企画運営委員	岬 和宏	ミサキ電機社長
企画運営委員	瀧 宗生	津名町社会教育課長
兼 指 導 員	野上 英次	栄自動車整備工場社長
兼 指 導 員	梅原 隆之	北淡リサイクルセンター所長
指 導 員	廣瀬 幸治	廣瀬一級建築士事務所長
指 導 員	稲室 義直	佐野公民館長
指 導 員	石上 晉	前志筑公民館長
指 導 員	西川 玉士	津名中学校教頭
指 導 員	小堀 禎員	沼島中学校教頭
指 導 員	向田 卓司	淡路文化会館勤務
事 務 局	中村 貴志	
事 務 局	阪上 知之	
事 務 局	細田 和義	

## 平成18年度

役 職	氏 名	所 属
会 長	内海 孝	淡路市教育長
副 会 長		
企画運営委員長	堀口 純	津名生穂郵便局長
副 委 員 長	石井 良宗	三和製作所会長
企画運営委員	岬 和宏	ミサキ電機社長
企画運営委員	野上 英次	栄自動車整備工場社長
兼 指 導 員	梅原 隆之	北淡リサイクルセンター所長
指 導 員	廣瀬 幸治	廣瀬一級建築士事務所長
指 導 員	稲室 義直	前佐野公民館長
指 導 員	石上 晉	前志筑公民館長
指 導 員	西川 玉士	塩田小学校教頭
指 導 員	小堀 禎員	大町小学校教頭
指 導 員	向田 卓司	淡路文化会館勤務
指 導 員	石井 良和	津名地域教育課勤務
指 導 員	実野 勝久	阡鈴社
事 務 局	中川 晴敬	
事 務 局	望月 奉文	

## 平成19年度

役 職	氏 名	所 属
会 長	内海 孝	淡路市教育長
副 会 長	堀口 純	前津名生穂郵便局長
企画運営委員長	堀口 純	前津名生穂郵便局長
副 委 員 長	石井 良宗	三和製作所会長
企画運営委員	岬 和宏	ミサキ電機社長
企画運営委員	野上 英次	栄自動車整備工場社長
企画運営委員	石上 晉	前志筑公民館長
指 導 員	廣瀬 幸治	廣瀬一級建築士事務所長
指 導 員	稲室 義直	前佐野公民館長
指 導 員	西川 玉士	岩屋中学校校長
指 導 員	小堀 禎員	大町小学校教頭
指 導 員	向田 卓司	淡路文化会館勤務
指 導 員	石井 良和	社会教育課シルバー
指 導 員	中之内 肇	美聲堂
指 導 員	実野 勝久	阡鈴社
事 務 局	中川 晴敬	
事 務 局	新井 正人	

平成20年度

役 職	氏 名	所 属
会 長	内海 孝	淡路市教育長
副 会 長	堀口 純	前津名生穂郵便局長
企画運営委員長	堀口 純	前津名生穂郵便局長
副 委 員 長	石井 良宗	三和製作所会長
企画運営委員	岬 和宏	ミサキ電機社長
企画運営委員	野上 英次	栄自動車社長
企画運営委員	石上 晉	前志筑公民館長
企画運営委員	北村 博	県発明協会専務理事事務局長
企画運営委員	三津 清	ミツ精機会長
企画運営委員	佐野 武仁	昭和女子大大学院教授
指 導 員	廣瀬 幸治	廣瀬一級建築士事務所長
指 導 員	稲室 義直	前佐野公民館長
指 導 員	西川 玉士	岩屋中学校校長
指 導 員	小堀 禎員	大町小学校教頭
指 導 員	向田 卓司	県立淡路文化会館
指 導 員	石井 良和	社会教育課シルバー
指 導 員	中之内 肇	美聲堂
指 導 員	実野 勝久	阡鈴社
指 導 員	春木 正己	そろばん塾経営
指 導 員	立谷 林也	淡路市嘱託職員
事 務 局	中川 晴敬	

平成22年度

役 職	氏 名	所 属
会 長	森 和重	淡路市教育長
副 会 長	堀口 純	前津名生穂郵便局長
企画運営委員長	堀口 純	前津名生穂郵便局長
副 委 員 長	石井 良宗	三和製作所会長
企画運営委員	岬 和宏	ミサキ電機社長
企画運営委員	野上 英次	栄自動車社長
企画運営委員	水本 公治	県発明協会専務理事
企画運営委員	三津 清	ミツ精機会長
企画運営委員	佐野 武仁	昭和女子大大学院教授
指 導 員	廣瀬 幸治	廣瀬一級建築士事務所長
指 導 員	西川 玉士	岩屋中学校校長
指 導 員	小堀 禎員	釜口小学校校長
指 導 員	向田 卓司	生穂小学校教頭
指 導 員	石井 良和	元三和製作所
指 導 員	中之内 肇	美聲堂
指 導 員	春木 正己	そろばん塾経営
指 導 員	立谷 林也	淡路市嘱託職員
指 導 員	森岡 達	元三洋電機企画開発部門
事 務 局	安藤 浩司	

平成21年度

役 職	氏 名	所 属
会 長	内海 孝	淡路市教育長
副 会 長	堀口 純	前津名生穂郵便局長
企画運営委員長	堀口 純	前津名生穂郵便局長
副 委 員 長	石井 良宗	三和製作所会長
企画運営委員	岬 和宏	ミサキ電機社長
企画運営委員	野上 英次	栄自動車社長
企画運営委員	水本 公治	県発明協会専務理事事務局長
企画運営委員	三津 清	ミツ精機会長
企画運営委員	佐野 武仁	昭和女子大大学院教授
指 導 員	廣瀬 幸治	廣瀬一級建築士事務所長
指 導 員	稲室 義直	元小学校長
指 導 員	西川 玉士	岩屋中学校校長
指 導 員	小堀 禎員	釜口小学校校長
指 導 員	向田 卓司	生穂小学校教頭
指 導 員	石井 良和	元三和工業ミシン専務
指 導 員	中之内 肇	美聲堂
指 導 員	実野 勝久	阡鈴社
指 導 員	春木 正己	そろばん塾経営
指 導 員	立谷 林也	淡路市嘱託職員
事 務 局	中川 晴敬	

クラブ員名簿

平成12年度

氏 名	学校・学年・性別
下土井秀弥	志筑・4年・男
富本 尚平	志筑・4年・男
広瀬 貴之	志筑・4年・男
藤阪 友哉	志筑・4年・男
森奥 貴敏	志筑・4年・男
吉中 直哉	志筑・4年・男
打越 めい	志筑・4年・女
奥田 彩子	志筑・4年・女
中村絵里奈	志筑・4年・女
中山裕紀子	志筑・4年・女
林 幸那	志筑・4年・女
福井さやか	志筑・4年・女
森 愛賀	志筑・4年・女
平見 英樹	中田・4年・男
岡山 真也	志筑・5年・男
久保田皓開	志筑・5年・男
箕田 直樹	志筑・5年・男
谷澤 恵美	志筑・5年・女
仲尾 和祥	中田・5年・男
井谷 淳	志筑・6年・男
一瀬 貴文	志筑・6年・男
梅脇 悠司	志筑・6年・男
村田 龍哉	志筑・6年・男
横山 寛晃	志筑・6年・男
吉中 大樹	志筑・6年・男

平成13年度

氏 名	学校・学年・性別
梶内 孝真	志筑・4年・男
小島 千明	志筑・4年・女
城野 絢香	志筑・4年・女
谷下莉加帆	志筑・4年・女
奥村 真	中田・4年・男
仲尾 仁志	中田・4年・男
西岡 政博	中田・4年・男
脇 拓夫	中田・4年・男
広瀬 貴之	志筑・5年・男
森奥 貴敏	志筑・5年・男
松原 弘起	大町・5年・男
久保田皓開	志筑・6年・男
箕田 直樹	志筑・6年・男
仲尾 和祥	中田・6年・男
興津 翔	生一・6年・男

平成14年度

氏 名	学校・学年・性別
瓜生 拓夢	志筑・4年・男
三光 将之	志筑・4年・男
中野 潤	志筑・4年・男
藤阪 克哉	志筑・4年・男
御幸 大聖	志筑・4年・男
岡谷 麻由	志筑・4年・女
木村 萌美	志筑・4年・女
堤 奈央	志筑・4年・女
中山 貴嗣	中田・4年・男
中山 雅嗣	中田・4年・男
福永 将史	生穂・4年・男
森 愛美	生穂・4年・女
松原 辰弥	大町・4年・男
小島 千明	志筑・5年・女
城野 絢香	志筑・5年・女
奥村 真	中田・5年・男
仲尾 仁志	中田・5年・男
西岡 政博	中田・5年・男
脇 拓夫	中田・5年・男
高山 優貴	生穂・5年・男
廣瀬 貴之	志筑・6年・男
森奥 貴敏	志筑・6年・男

平成15年度

氏 名	学校・学年・性別
池上 郁弥	中田・4年・男
奥村 雅	中田・4年・男
打越 知己	生一・4年・男
元岡 佑紀	志筑・4年・女
元岡 佑美	志筑・4年・女
池嶋 明信	志筑・5年・男
瓜生 拓夢	志筑・5年・男
三光 将之	志筑・5年・男
富岡 駿介	志筑・5年・男
富岡 光希	志筑・5年・男
仲田 蓮謙	志筑・5年・男
藤阪 克哉	志筑・5年・男
中山 貴嗣	中田・5年・男
岡谷 麻由	志筑・5年・女
木村 萌美	志筑・5年・女
柴谷 依里	志筑・5年・女
末益 綾	志筑・5年・女
堤 奈央	志筑・5年・女
中原 麻歩	志筑・5年・女
奥村 真	中田・6年・男
仲尾 仁志	中田・6年・男
西岡 政博	中田・6年・男
脇 拓夫	中田・6年・男
小島 千明	志筑・6年・女
城野 絢香	志筑・6年・女
高山 加渚	志筑・6年・女

平成16年度

氏 名	学校・学年・性別
安居 和也	志筑・4年・男
在田莊一郎	志筑・4年・男
井谷 寿希	志筑・4年・男
木村 僚	志筑・4年・男
富本 謙仁	志筑・4年・男
中之内亮太	志筑・4年・男
安居 恵理	志筑・4年・女
藤山 直子	志筑・4年・女
木村 萌美	志筑・6年・女

# 平成12年度活動経過報告

活動日	活 動 内 容	指導員 (補助)	指導員の活動内容
4月22日	開始式 公開発明教室 「ブーメラン」の製作	稲室 (全員)	
5月13日	基礎工作教室1 「ストローとわりばしを使ったおもちゃ」の製作	西川 (小堀)	
27日	基礎工作教室2 「工具を使った鉛筆立て」の製作	堀口 (廣瀬)	
6月10日 24日	基礎工作教室3 基礎工作教室4 「紙トンボ」の製作	廣瀬 10(西川) 24(小堀)	
7月9日	基礎工作教室5 「ダンボールを使った紙細工」の練習	堀口 (稲室)	
26日 27日 28日	創作工作教室1-① 創作工作教室1-② 創作工作教室1-③ 「アイディア貯金箱」の製作	石上 26(向田) 27(堀口) 28(稲室)	
8月1日 2日	近畿ブロック大会 伊丹市市民健康村(兵庫県)	事務局	
9月18日	島内体験学習 (株)薫寿堂 工場見学と線香作り	堀口 (事務局)	
10月22日	創作工作教室2-① 「色々はいる道具ケース」の製作	梅原	
11月12日 26日	創作工作教室2-② 「色々はいる道具ケース」の製作 創作工作教室2-③ 「木工旋盤」の練習	梅原 12(廣瀬) 26(稲室)	21日 創立70周年記念式典 (神戸市)
12月9日	創作工作教室2-④ 「木工旋盤」の練習	梅原 (小堀)	13日 近畿ブロック事務局会議 (和歌山市)
1月7日 8日	テーマ工作教室1-① テーマ工作教室1-② 「木工クラフトを使ったヨーヨー」の製作	小堀 7(西川) 8(廣瀬)	
3月10日	修了式		16日 全国会議(東京都)

## 平成17年度

氏 名	学校・学年・性別
岡野 聖	志筑・4年・男
坂池 隆太	浦・4年・男
野里 憧	石屋・4年・男
村上 琴葉	志筑・4年・女
奥土 明美	佐野・4年・女
河野 美紀	生田・4年・女
東原 れみ	江井・4年・女
平見 淳	塩田・5年・男
荒島 一貴	志筑・5年・男
在田壮一郎	志筑・5年・男
井谷 寿希	志筑・5年・男
木村 僚	志筑・5年・男
嵯峨根 駿	志筑・5年・男
富本 議仁	志筑・5年・男
中之内亮太	志筑・5年・男
河野 統法	生田・5年・男
片山 豊	育波・5年・男
藤江 久典	育波・5年・男
興津 友	生一・6年・男
河野 大輔	生田・6年・男
池内 美帆	浦・6年・女

## 平成19年度

氏 名	学校・学年・性別
尾上 貴志	大町・3年・男
片岡 秀広	大町・3年・男
佐野 孝輔	大町・3年・男
豊嶋 健瑠	中田・3年・男
米山 夢	浦・3年・女
粟田 聖也	尾崎・4年・男
太田 圭亮	尾崎・4年・男
岡 健斗	学習・4年・男
小縣 侑矢	尾崎・4年・男
片山 信生	尾崎・4年・男
熊代 龍馬	尾崎・4年・男
小松 亮太	尾崎・4年・男
西山 尚吾	尾崎・4年・男
片山 敦史	尾崎・5年・男
摺臼 良哉	尾崎・5年・男
谷 翔太	塩田・5年・男
中尾 智哉	尾崎・5年・男
中之内智哉	志筑・5年・男
宮浦昂太郎	尾崎・5年・男
村上 原野	大町・5年・男

## 平成21年度

氏 名	学校・学年・性別
植松 大輝	志筑・4年・男
川野真由香	大町・4年・女
清水 勇登	志筑・4年・男
辻 翔太郎	生穂・4年・男
廣田 敦士	柳沢・4年・男
尾上 貴志	大町・5年・男
佐野 孝輔	大町・5年・男
高田 真帆	志筑・5年・女
穂積 玲於	中田・6年・男

## 平成18年度

氏 名	学校・学年・性別
村上 原野	大町・4年・男
山口 侑希	浦・4年・男
谷 翔太	塩田・4年・男
中谷 亘佑	生一・4年・男
徳梅 悟	多賀・4年・男
平見 淳	塩田・6年・男
在田壮一郎	志筑・6年・男
木村 僚	志筑・6年・男
井谷 寿希	志筑・6年・男
安居 和也	志筑・6年・男
城野 悠太	志筑・6年・男
田尾 吏	志筑・6年・男
曾輪 凌也	塩田・5年・男
中之内智哉	志筑・4年・男
上堀内武尉	石屋・5年・男
原田 耕介	多賀・4年・男

## 平成20年

氏 名	学校・学年・性別
尾上 貴志	大町・4年・男
片岡宗一郎	生穂・4年・男
佐野 孝輔	大町・4年・男
杉浦 拓海	多賀・4年・男
波戸 翔太	学習・4年・男
志方伽奈美	塩田・4年・女
深山ひかり	志筑・4年・女
東 朋香	志筑・5年・女
谷 翔太	塩田・6年・男

## 平成22年度

氏 名	学校・学年・性別
奥井 翔麻	北淡・3年・男
仲井 夏騎	大町・4年・男
植松 大輝	志筑・5年・男
植松 竜也	志筑・4年・男
高田 陽介	生穂・3年・男
松田 早恵	生穂・4年・女
城田 凌侑	中田・3年・男
川野真由香	大町・5年・女
宮田 天生	学習・3年・男
藤本 羽海	多賀・4年・男
廣田 敦士	多賀・5年・男
今北 知宏	志筑・3年・男
谷 光一郎	志筑・3年・男
正司 智也	志筑・3年・男
池尻亜有基	志筑・3年・男
飯田 修右	北淡・6年・男

## 平成13年度活動経過報告

活動日	活動内容	指導員 (補助)	指導員の活動内容
5月6日	基礎工作教室1 「紙を使って物を作ろう」	稲室 (小堀)	
26日	基礎工作教室2 「木を使って物を作ろう」	稲室 (廣瀬)	
6月9日	基礎工作教室3 「すのこ板を使った棚作り」	廣瀬 (堀口)	
23日	基礎工作教室4 「すのこ板を使った棚作り」	廣瀬 (向田)	
7月14日	基礎工作教室5 「アルミ缶を使った工作」	堀口 (稲室)	
25日	創作工作教室1-1 「貯金箱の製作」	石上	
26日	創作工作教室1-2 「貯金箱の製作」	石上 (小堀)	
27日	創作工作教室1-3 「貯金箱の製作」	石上 (小堀)	
30日 31日	近畿ブロック大会 和歌山市立少年自然の家	事務局	
8月5日	島外体験学習 神戸市青少年科学館	堀口 (西川)	
10月28日	創作工作教室2-1 「雑誌等を整理する道具の製作」	梅原 (石上)	
11月11日	創作工作教室2-2 「雑誌等を整理する道具の製作」	梅原 (廣瀬)	
18日	創作工作教室2-3 「雑誌等を整理する道具の製作」	梅原 (稲室)	
12月8日	創作工作教室2-4 「風力によるレーシングカーの製作」	梅原	12日 近畿ブロック会議 (京都府)
1月6日	創作工作教室2-5 「風力によるレーシングカーの製作」	梅原 (向田)	
3月9日	テーマ工作教室1「ボンボンコップの製作」 修了式	小堀 (全員)	10日 全国会議(東京都)

## 平成14年度活動経過報告

活動日	活動内容	指導員	
		主幹	補助
4月21日(日)	開始式 ペーパークラフトを作ってみよう	堀口	全員
5月12日(日)	飛ぶ紙工作を作ろう	稲室	西川
25日(土)	とんでけ、やじろべえ	稲室	廣瀬
6月8日(土)	照明器具のカバー作り	廣瀬	向田
22日(土)	照明器具のカバー作り	廣瀬	堀口
7月24日(水)	貯金箱の製作(説明と創作活動)	小堀	石上
25日(木)	貯金箱の製作(創作活動)	小堀	石上
26日(金)	貯金箱の製作(完成と発表)	小堀	石上
30日(火) 31日(水)	近畿ブロック大会(京都府るり溪少年自然の家)	事務局	
8月4日(日)	島外体験学習(大阪市立科学館、インスタントラーメン発明記念館)	堀口	事務局
9月7日(土)	わりばし工作を楽しもう	堀口	稲室
14日(土)	みんなで環境問題を考えよう	梅原	西川
10月24日(木) 25日(金)	平成14年秋季青少年発明クラブ全国会議に出席(青森県)	堀口	
11月9日(土)	平成14年度兵庫県学生児童発明くふう展表彰式に出席 (神戸市青少年科学館)	堀口	
30日(土)	創造してみよう	梅原	廣瀬
12月14日(土)	創造してみよう	梅原	西川
17日(火)	青少年近畿ブロック会議に出席(長岡京市立教育センター)	事務局	
1月11日(土)	独楽をつくろう	梅原	向田
25日(土)	独楽をつくろう	梅原	堀口
2月22日(土)	テーマ工作	西川	稲室
3月8日(土)	工作教室 修了式	向田	全員

## 平成15年度活動経過報告

活動日	作品・行事名等	内容・指導要項等
4月20日(日)	開始式 「針金の三輪車を作ってみよう」	あいさつ－指導員の紹介－年間活動計画－ワッペン交付－記念写真撮影 針金を使用して三輪車を製作した。
5月10日(土) 31日(土)	アイデア作品の制作	クラブ員個々にテーマを持たせ、豊かな発想・独創的な考えを作品に反映できるよう指導し、製作活動において基本的な工具の扱い方や用途について説明し同時にKYT訓練を行うことで安全面に注意するよう指導した。これらを踏まえ得て、コンクール出展に向けて製作に取り組んだ。
6月14日(土) 28日(土)		
7月12日(土) 26日(土)		
8月9日(土) 16日(土) 23日(土)	島外体験学習 アイデア作品の制作	台風のため、中止 前教室に引き続いて、コンクール出展に向けて製作に取り組んだ。
9月7日(土)	アイデア作品の制作	前教室に引き続いて、コンクール出展に向けて製作に取り組んだ。
10月11日(土) 25日(土)	みんなで環境について考えよう 廃材を使ってアイデア作品を作ろう	指導員より環境・リサイクル等産業廃棄物の処理についてプロジェクター等使用して、協議した。 コンクール出展の際の廃材を利用して、個々にアイデア作品を制作した。
11月1日(土) 8日(土) 22日(土)	島外体験学習 「紙を使い高い塔をつくってみよう」 「まわるおもちゃをつくってみよう」	神戸市青少年科学館施設見学 兵庫県学生児童発明くふう展へ7名の作品を応募し、内1名兵庫県発明協会会長賞受賞 いろんな紙を重ねてどれだけ高く積み重ねることができるか協議を重ね、実施した。 遊園地のコーヒーカップのように箱の上でコーヒーカップが竹ひご・タコ糸等を使用し製作した。完成後どうすれば回りやすくなるかについて頭を悩ませながら取り組んでいた。
12月13日(土) 20日(土)	「ペットボトルで 工作をつくってみよう」	ペットボトルを使用し、ペンたて・石鹸入れ等を製作した。 ペットボトルを切るため再度KYT訓練を行うことで安全面に注意するよう指導を行った。
1月17日(土) 24日(土)	「おもちゃをつくらう」	たわし・モーター等を使い自由に動くモーターカーを製作した。完成後どうすれば動きやすくなるかについて頭を悩ませながら取り組んでいた。
2月14日(土) 3月14日(日)	「紙飛行機をつくってみよう」 修了式	紙を使って飛行機を作成した。製作技術の向上だけでなく、風の抵抗の仕組みなど実際に作ることで身近に体験することができた。 終了証書・記念品贈呈

## 平成16年度活動経過報告

活動日	活動内容等
4月17日(日)	開始式 あいさつ、指導員の紹介、ワッペンの交付、記念撮影 公開教室「竹ひごカーをつくらう」
5月8日(土) 22日(土)	アイデア作品の製作① クラブ員の発想をもとに、発明くふう展に向けて作品を製作する。 アイデア作品の製作② クラブ員の発想をもとに、発明くふう展に向けて作品を製作する。
6月12日(土) 26日(土)	アイデア作品の製作③ クラブ員の発想をもとに、発明くふう展に向けて作品を製作する。 アイデア作品の製作④ クラブ員の発想をもとに、発明くふう展に向けて作品を製作する。
7月10日(土) 24日(土)	アイデア作品の製作⑤ クラブ員の発想をもとに、発明くふう展に向けて作品を製作する。 アイデア作品の製作⑥ クラブ員の発想をもとに、発明くふう展に向けて作品を製作する。
8月14日(土) 21日(土) 28日(土) 29日(日)	アイデア作品の製作⑦ クラブ員の発想をもとに、発明くふう展に向けて作品を製作する。 アイデア作品の製作⑧ クラブ員の発想をもとに、発明くふう展に向けて作品を製作する。 第55回少年少女発明クラブ全国会議に出席
9月11日(土)	アイデア作品の製作⑨ クラブ員の発想をもとに、発明くふう展に向けて作品を製作する。
10月9日(土) 23日(土)	アイデア作品の製作⑩ クラブ員の発想をもとに、発明くふう展に向けて作品を製作する。 アイデア作品の製作⑪ クラブ員の発想をもとに、発明くふう展に向けて作品を製作する。
11月6日(土) 13日(土) 27日(土)	島外体験学習 神戸市青少年科学館（兵庫県発明くふう展）の見学 アイデア作品の製作⑫ クラブ員の発想をもとに、発明くふう展に向けて作品を製作する。 創作教室①「やじろべえ作り」
12月11日(土) 25日(土)	創作教室②「動くおもちゃをつくらう」 創作教室③「動くおもちゃをつくらう」
1月15日(土) 29日(土)	創作教室④「ぼく・わたしが考えた 動くものをつくらう」 創作教室⑤「ぼく・わたしが考えた 動くものをつくらう」
2月12日(土)	創作教室⑥「中身の見える燃料電池を作ろう」
3月12日(土)	創作教室⑦「中身の見える燃料電池を作ろう」 終了式 あいさつ、修了証書・記念品の贈呈、記念撮影

## 平成17年度活動経過報告

活動日	活動内容		指導員	
			主幹	補助
4月23日(土)	開始式・公開発明教室	紙飛行物体に挑戦	梅原	全員
5月14日(土)	アイデア作品の製作①	変形さいころの製作	堀口	梅原
21日(土)	アイデア作品の製作②	紙工作をしてみよう	堀口	梅原
6月11日(土)	アイデア作品の製作③	アイデア作品の製作	廣瀬	堀口
25日(土)	アイデア作品の製作④	アイデア作品の製作	廣瀬	堀口
7月9日(土)	アイデア作品の製作⑤ 指導者会議	アイデア作品の製作	小堀	廣瀬
23日(土)	アイデア作品の製作⑥	アイデア作品の製作	小堀	廣瀬
8月13日(土)	アイデア作品の製作⑦ 保護者との懇談会	アイデア作品の製作	西川	小堀
27日(土)	アイデア作品の製作⑧	アイデア作品の製作	西川	小堀
29日(月)	島内体験学習 明石海峡大橋、URA株式会社の施設工場見学		指導者全員・事務局 15名参加	
9月3日(土)	アイデア作品の製作⑨	アイデア作品の製作	西川	向田
10月8日(土)	アイデア作品の製作⑩	アイデア作品の製作	稲室	西川
22日(土)	アイデア作品の製作⑪	アイデア作品の製作	稲室	西川
11月5日(土)	島外体験学習（くふう展に10作品を出展） 神戸市青少年科学館（兵庫県発明くふう展見学）、人と防災未来センター 兵庫県発明協会会長賞受賞「モップしぼり機」平見淳くん		指導者全員・事務局 19名参加	
12日(土)	創作工作教室1-①	木のパズルをつくろう	石上	稲室
26日(土)	創作工作教室1-②	木のパズルをつくろう	石上	稲室
12月10日(土)	創作工作教室2-①	ナイロンでコマをつくろう	梅原	石上
24日(土)	創作工作教室2-②	ナイロンでコマをつくろう	梅原	石上
1月14日(土)	創作工作教室3-①	動くおもちゃをつくろう	向田	梅原
28日(土)	創作工作教室3-②	使い捨てカイロをつくろう	向田	梅原
2月4日(土)	出前教室（東浦地域社会センター）	ブーメランをつくろう	稲室	全員
11日(土)	創作工作教室4-①	模型飛行機をつくろう	堀口	向田
3月11日(土)	創作工作教室4-②・修了式	模型飛行機をつくろう	堀口	全員

## 平成18年度活動経過報告

活動日	活動内容		指導員	
			主幹	補助
4月22日(土)	開始式・公開発明教室		小堀	全員
5月13日(土)	発明教室及び工具の取り扱い等の説明について		梅原	
27日(土)	基礎工作教室、保護者説明会		堀口	梅原
6月10日(土)	アイデア作品の製作①（アイデアについて）		堀口	石井
24日(土)	アイデア作品の製作②（作品の製作）		堀口	石井
7月8日(土)	アイデア作品の製作③（作品の製作）		小堀	廣瀬
22日(土)	アイデア作品の製作④（作品の製作）		小堀	廣瀬
8月12日(土)	アイデア作品の製作⑤（作品の製作）		西川	小堀
26日(土)	アイデア作品の製作⑥（作品の製作）		西川	小堀
30日(水)	島内体験学習「風力発電とリサイクル工場見学」		梅原・石井	
9月9日(土)	アイデア作品の製作⑦（作品の製作）		西川	小堀
23日(土)	アイデア作品の製作⑧（作品の製作）		西川	小堀
10月7日(土)	アイデア作品の製作⑨（作品の製作）		稲室	西川
14日(土)	アイデア作品の製作⑩（作品の製作）		稲室	西川
11月3日(祝)	島外体験学習「からくり人形競技大会」		堀口・石上・梅原	
11日(土)	創作工作教室①		石上	堀口
25日(土)	創作工作教室②		石上	堀口
12月9日(土)	創作工作教室③		梅原	石上
23日(土)	創作工作教室④		堀口	石上
1月14日(日)	創作工作教室⑤		向田	堀口
20日(土)	創作工作教室⑥		向田	石井
27日(土)	創作工作教室⑦		向田	
2月10日(土)	創作工作教室⑧		向田	石井
3月10日(土)	からくり人形講演会・修了式		堀口	全員

## 平成19年度活動経過報告

活動日	活動内容		指導員	
			主幹	補助
4月22日(日)	開始式・公開発明教室	竹ひごカー	堀口	西川・小堀
5月12日(土)	アイデア作品の製作①	ゴム鉄砲をつくろう	堀口	
26日(土)	アイデア作品の製作②	パズルをつくろう	小堀	西川・石井 中之内
6月16日(土)	アイデア作品の製作③	動く模型	西川	石井・堀口
23日(土)	アイデア作品の製作④	動く模型	西川	中之内・春木 堀口
7月14日(土)	アイデア作品の製作⑤	ストローハングライダー (台風接近により中止)	小堀	堀口
28日(土)	アイデア作品の製作⑤	貯金箱	堀口	西川・石井 中之内・春木
8月11日(土)	アイデア作品の製作⑥	貯金箱	堀口	西川・稲室 中之内・春木
22日(水)	島内体験学習（大阪湾海上交通センター）		堀口・中之内	
25日(土)	アイデア作品の製作⑦	貯金箱	廣瀬	稲室・堀口
9月8日(土)	アイデア作品の製作⑧	貯金箱	堀口	廣瀬・稲室 石井・春木
29日(土)	アイデア作品の製作⑨	発明品の製作	堀口	廣瀬・西川 石井・中之内
10月13日(土)	アイデア作品の製作⑩	アイデア工作	堀口	石井・実野 春木
27日(土)	アイデア作品の製作⑪	アイデア工作	廣瀬	石井・中之内 春木・実野
11月3日(土)	島外体験学習（神戸市立青少年科学館、神戸海洋博物館）		堀口・中之内・春木	
10日(土)	課題工作①	浮き沈みする物	廣瀬	稲室・堀口 実野
25日(日)	課題工作②	マジック缶コーヒー	小堀	石井・実野 春木・堀口
12月15日(土)	課題工作③	乾電池の製作	堀口	石井・春木
22日(土)	課題工作④	発明品の製作	西川	実野・春木 堀口
1月12日(土)	課題工作⑤	燃料電池モデルカー	西川	稲室・石井 春木・実野
26日(土)	課題工作⑥	動くおもちゃ作り	向田	堀口・中之内 春木・実野
2月9日(土)	課題工作⑦	おもちゃ作り	向田	石井・実野
3月8日(土)	修了式		全員	

## 平成20年度活動経過報告

活動日	活動内容		指導員	
			主幹	補助
4月19日(土)	開始式・公開発明教室	おもしろいれかえ人物	小堀	堀口・稲室・石井 中之内・春木
5月10日(土)	アイデア作品の製作①	パズルをつくろう	小堀	中之内・春木
24日(土)	アイデア作品の製作②	道具の使い方を勉強しよう	稲室	堀口・石井 中之内・西川
6月14日(土)	アイデア作品の製作③	パズルをつくろう part2	小堀	堀口・西川 石井・春木
28日(土)	アイデア作品の製作④	立体パズルをつくろう	西川	堀口・石井 中之内
7月12日(土)	アイデア作品の製作⑤	立体パズルを作ろう part2	西川	堀口・稲室 石井・春木
26日(土)	アイデア作品の製作⑥	貯金箱	稲室	石井・春木 中之内
8月9日(土)	アイデア作品の製作⑦	風鈴作り	立谷	石井・春木
23日(土)	アイデア作品の製作⑧	発明くふう展出品製作	廣瀬	堀口・稲室・石井 中之内・春木
27日(水)	島内体験学習（ミツ精機）			
9月13日(土)	アイデア作品の製作⑨	発明くふう展出品製作	廣瀬	堀口・稲室・石井 中之内・春木
27日(土)	アイデア作品の製作⑩	発明くふう展出品製作	廣瀬	堀口・石井 中之内・春木
10月4日(土)	アイデア作品の製作⑪	発明くふう展出品製作	廣瀬	堀口・稲室 中之内・石井
5日(土)	アイデア作品の製作⑫	発明くふう展出品製作	廣瀬	堀口・石井 中之内・西川
11月3日(月)	島外体験学習（神戸市立青少年科学館、竹中大工道具館）			
8日(土)	課題工作①	ザリガニロボット製作	廣瀬	堀口・石井 春木・実野
15日(土)	課題工作②	おもしろ木工・紙工作	小堀	石井・春木 堀口・実野
12月13日(土)	課題工作③	電気工作	西川	石井・春木 実野
27日(土)	課題工作④	ジャンプするおもちゃ	立谷	堀口・実野・石井 中之内・春木
1月10日(土)	課題工作⑤	動く活断層ペーパークラフトを作ろう	西川	石井・春木 中之内・番匠
24日(土)	課題工作⑥	空飛ぶやじろべえ	向田	中之内・春木 堀口
3月7日(土)	課題工作⑦	空飛ぶやじろべえ	向田	堀口・実野 石井・春木
14日(土)	修了式		全員	

## 平成21年度活動経過報告

活動日	活動内容		指導員	
			主幹	補助
4月25日(土)	開始式・公開発明教室	牛乳パックでオリジナルおもちゃづくり	廣瀬	堀口・西川・石井 中之内・春木・実野
5月9日(土)	アイデア作品の製作①	道具の使い方	小堀	堀口・石井 春木・実野
23日(土)	インフルエンザの為中止			
6月13日(土)	アイデア作品の製作②	ものづくり	西川	堀口・実野 石井・春木
27日(土)	アイデア作品の製作③	電気で遊ぼう	西川	堀口・石井 中之内・実野
7月11日(土)	アイデア作品の製作④	発明くふう展作品製作	廣瀬	石井・春木 中之内・実野
25日(土)	アイデア作品の製作⑤	発明くふう展作品製作	堀口	石井・春木 中之内・実野
8月8日(土)	アイデア作品の製作⑥	発明くふう展作品製作	廣瀬	堀口・石井・春木 中之内・実野
22日(土)	アイデア作品の製作⑦	発明くふう展作品製作	堀口	春木・中之内 実野
26日(木)	島内体験学習 三和製作所 (中止)			
9月12日(土)	アイデア作品の製作⑧	発明くふう展作品製作	廣瀬	堀口・石井 春木・実野
19日(土)	アイデア作品の製作⑧	発明くふう展作品製作	堀口・石井・春木 中之内・実野	
10月10日(土)	課題工作①	なんでモビール	実野	石井・中之内
24日(土)	課題工作②	卓上創作カレンダー	小堀	堀口・石井・春木 中之内・実野
11月3日(祝)	島外体験学習 神戸市立青少年科学館 IKEA		堀口・石井・春木・番匠	
14日(土)	課題工作③	ブーメラン	稲室	
28日(土)	課題工作④	千鳥格子	稲室	石井・中之内 春木
12月12日(土)	課題工作⑤	ガチャマンゴマ	立谷	堀口・石井 春木・中之内
26日(土)	課題工作⑥	キーホルダーとストラップ作り	立谷	堀口・石井 春木・中之内
1月9日(土)	課題工作⑦	牛乳パックの活用アイデア作品	堀口	石井・春木
2月20日(土)	課題工作⑧	綿菓子	向田	中之内
27日(土)	課題工作⑨	七宝焼	向田	堀口・石井 春木
3月13日(土)	終了式		全員	

## 繁栄の起源を探究する

副会長 堀口 純



少年少女発明クラブに携わって20年経過した後、よくもまあ、このような大それたことに手を出したものだ、と、近頃思うようになりました。ただ、興味があり、少し日本人としての使命感があり、過去の職種が特許部門であったということだけで、将来性有望な子ども達に、これといった資格もなく、クラブの運営と指導に当たっていることに責任の重大さを痛切に感じています。

子どもたちが主役の活動ですが、このクラブには多くの方々に関与しています。(社)発明協会、淡路市、市内の事業所の要職にある方、教育関係者、技術関係の職種経験者、理工系の学識経験者などです。このことは必然性から組織的に連携しており、一貫した考え方を以って協調されているという特徴があります。すなわち、国が目指す「科学技術創造立国」日本の道筋にのっとっており、多くの方々真剣にこの指針に賛同して行動し、支援していて常に熱い情熱と継続すべしとの強い意志に支えられています。

クラブ員の視点からすると、毎回クラブの活動に参加したくなるようなプログラムが提供されていること、指導にあたる先生方のスキルと情熱、先生とクラブ員相互のコミュニケーションがうまく図られているかという問題をクリアしなければなりません。

クラブでは、個々独自の自由な発想に基づく工作の場が提供されています。今まで、このような場における経験が少なかったことから、発明工夫を得意とする子供たちにとっては、希望と開放感に満ちている教室に期待感が大きく、休まず自ら進んで毎回参加しています。毎年秋に開催の発明工夫コンクールに当クラブから多数出品し、その成果として優秀賞を例年頂く形となって現れてきています。

当クラブが長期継続できたのは、関係者の方々が相当困難なことも忍耐強く対処し乗り越えて頂いた結果だと思っています。アイデア工作、課題工作、教室外の各種見学等とKYTの指導に当られた指導員、当クラブの歴代事務局、運営委員のみなさまに心よりお礼申し上げます。

深刻になるであろう国際競争力を維持発展させるため日本の科学技術の領域で土台から高め、支える発明奨励という分野で、わたしが関われる喜びをこれからも持ち続けたいと願っています。今後とも引き続きみなさまの温かいご指導、支援とご協力をお願い申し上げます。

## 地道な物づくりの伝承を

運営委員 石井良宗



淡路少年少女発明クラブ創立二十周年おめでとうございます。

この長い年月の役員、指導員の皆様方と関係当局に対し、感謝申し上げます。

皆様は、子ども達にもものづくりの貴重な経験を与え、彼らは多くの夢と将来の可能性を胸に秘めて教室を巣立って行きました。

法隆寺や今に残る寺社仏閣に見る先人達のすぐれた技術と、式年遷宮が如実に示す文化や技術の伝承に接する時深い感銘を覚えます。

ものづくりは生活の一部と云っていいと思います。生活の場や事業所で私たち現場の人や職人たちが工夫してものを作ります。またそのための機械や道具を作らなければなりません。

機械工業においては、人が手作りで部品を作り汎用の機械で材料を削ったり、穴をあけたり、かたち作ったりします。部品を組み立てます。鍛えられた技術で行われます。そこから技術やシステムが発展し、今も昔も日本の国を背負って行く屋台骨となっているのです。

理科ぎらいが一般化し、地道なものづくりに努める風潮が地を払った現在の日本に私も小さな胸を痛めております。

しかし、それでも私は若い人たちは祖先や先輩と同じ道を歩んでくれるものと確信いたします。国民すべてがあらゆることでそれを支えなければならないと思います。

## 日本のモノづくり

運営委員 三津清



淡路少年少女発明クラブ20周年、心からお祝い申し上げます。

クラブ員のみなさまは、工作活動を通じてモノづくりの達成感も体得され、集団生活の中で良い仲間も出来たはずです。このような体験こそが、クラブ員のみなさまが将来にモノづくりにたずさわる際には、大いに役立つものです。

20年を期に、さらなる活発な活動を期待しております。

日本のモノづくりの現況は、今さら人件費の高い日本で製造業が存続するのか、とか言われていますが、中国を中心とした新興国にとって代わられる、と悲観的なことを耳にすると反論したくなります。確かにそれらの国に勝てないものが拡大してきたことは事実で、さらに進むことでしょう。

だが、日本の強みには、永年にわたり築かれた力強い技術屋（職人）の底力があるはずです。新興国に決して負けない固有の技術、職人達の仕事に取り組む情熱、妥協なき技の追求、モノづくりに対する愛着や価値観などに象徴される彼らのモノづくりこそが、日本の底力であって武器となるのです。

最先端技術と呼ばれる部類の、宇宙衛星、原子力発電、電気自動車等々の部品も、それらが作られてゆく過程も個人的な（技術者）職人の技に頼られています。先端の技には何時も人がいる、手がある、それを組み立てて作動のサインを出すのも人である。コンピュータではない。人間の頭脳と技こそ、最も優れたモノづくりの根源です。「モノづくりは人づくり」という由縁であります。

みなさんは、少年少女発明クラブの活動を通じて、モノづくりの感触をつかみ、創造性豊かな人に育ってもらいたいものです。

## クラブ員OBから指導員の誕生を

指導員 廣瀬 幸治



全国で110番目兵庫県で2番目のクラブとして誕生して早や20年、人間で言えば成人式を迎える歳になった訳ですね。企画運営委員長の堀口さんからお誘いを受けたのは、その頃お世話をさせていただいていた子供会行事の常隆寺山への登山中であつたと記憶しています。このクラブを立ち上げるにあたっての熱い思いを聞かされまして、ぜひお手伝いさせて下さいと、その場でご返事させていただいたことを覚えています。クラブ発足に至るまでのご苦労には敬意を表したいと思ひます。そして運営面では、豊富な人脈で各方面の著名な方々からの支援を呼びかけご協力を頂き20年を迎えるにいたつた訳です。振り返れば、早くも感じますが色々な事がありました。活動の拠点である建物の建て替え、震災もありました。行政面では市町の合併もありました。クラブの運営面ではこの20年決して平穩ではなかつたと思ひます。発足当初から指導員として微力ながらお手伝いさせていただいている訳ですが、20周年を迎えるにあたり、なによりまずこのクラブを維持させるために大変なご苦労をされた企画運営委員長の堀口さんに感謝申し上げます。20年指導員として活動させていただけた事にも心から感謝いたします。

20年と申しますと、1期のクラブ員は30歳になるのですから、二十歳以上になっているクラブ員は何人いるのでしょうか。考えるとうれしくなります。このクラブの卒業生が科学に益々興味を持って、社会に貢献できる人材として育ててほしいと願っています。そして、そろそろ卒業生の中から当クラブ、いや他のクラブであってもいいと思うのですが、クラブの指導員として活動してくれるような人がいたらいいなと20周年を迎えるにあたり思ひます。

## 20年前とこれから

元運営・指導員 梅原 隆之



20周年おめでとうございます。

平成2年7月21日津名町中央公民館において津名町少年少女発明クラブ発足式が執り行われて20年。クラブ員34名、指導員12名運営委員9名（内3名兼任）でスタートしたことを思い出しました。

堀口さんに誘われて、指導員として期待と不安の状況で参加しました。

初めての分野であり、クラブ員以上に張り切っていたことを今でも覚えています。発足式前の準備会において『クラブ員の10年後、20年後の活躍をこの津名町を発信基地として頑張ってもらえることが楽しみです』といったことを思い出します。

当初のメンバーから現在のメンバーをみますと、20年の重みが伺えます。

当初のクラブ員も32歳近くになっており、津名町から淡路市になり時代の流れるより速く、より正確に、そして安全にと大きく変わってきました。

尚一層時代の要求に応えられるためには、基礎知識を若いうちに正しく、安全に、そして地球環境等を考えて幅広い意見を取り入れられる人間になってもらうための場所が必要です。そういった場所を提供できるのが、発明クラブであると思ひています。

私は、今此処で当初のクラブ員の方々と経験豊富な指導員の方たちがタッグを組んで新しい指導員・クラブ員を指導してもらえればと願っています。

20年という大きな節目になり、これからの発明クラブとして『緊禅一番』でやらなければ成らないような気がしてきました。私自身微力ながら今後の発明クラブの発展のために再度挑戦させて頂きたいと思ひます。

淡路市、学校、クラブ員保護者、各運営委員・各指導員諸氏の方たちと、発明クラブを理解して応援していただく企業スポンサー、各種団体の方たちと、協力をより一層深めてますます発展することを願う気持ちが一杯です。

## 子どもの夢と「ものづくり」

指導員 西川 玉士



私が淡路少年少女発明クラブ（当時は津名町）の指導者として関わりを始めたのは、生穂第一小学校（現在は生穂小学校）に勤めていた頃で、発明クラブ発足間もない頃だったと思います。その頃の私は、小学生に発明品を考えさせるといっても大変難しく、工作中心の指導でした。しかし、クラブ創設者の堀口副会長の「発明」への熱い思いと指導の賜物で、少しは「創意工夫・発明」へと指導ができるようになりました。

子ども達の発想の豊かさには、いつも驚かされます。タイマーを使って金魚のえさをやりたいとか、雨傘に電灯をつけたいとか、ペットボトルのふたを簡単に開けたいとか色々出てきます。簡単に作品化できるものもありますが、たいてい私は頭を抱えてしまいます。しかし根気強く子ども達とつきあう（発想を具体的ににする）ことで、子ども達の夢が少しずつ実現します。同時に私達大人も発明工作に夢中になっています。子ども達の夢につきあうことで、多くの驚きや学びを、子ども達から与えてもらっている様な気がします。

大人はついつい「発明・特許＝お金」を連想してしまいがちですが、子ども達は純粋にこんな物があったら便利だ、みんなが助かると思っています。夢をもっています。

発明クラブに通ったからといって必ずしも発明家になれるわけではありませんが、「自分の考えを深める喜び」「作品を完成させる喜び」を得ることができると思います。この様な体験からクラブ員には将来「創意工夫」「ものづくり」に夢や生きがいをもって励んでくれる大人（社会人）に育ってくれたらと願っています。今後も子ども達の発想（夢）を大事にし、子ども達が深く考えたり、無我夢中で「ものづくり」に励んだりできるよう支援していきたいと考えています。

## 創る喜びを味わう

指導員 小堀 禎 員



淡路市少年少女発明クラブ創立20周年おめでとうございます。平成2年、前身の津名町少年少女発明クラブが発足した翌年から事務局を3年間、その後指導員として今日まで関わってきました。

年によってクラブ員の人数の違いはありますが、初期の頃は人数も多く50名が教室一杯になって製作していたので、指導員がてんでこ舞いだったことがあります。また、親子でバスを貸し切って、島外体験学習として神戸や大阪の科学館に行ったこと。各地区持ち回りの近畿ブロック大会では、マイクロバスにクラブ員と指導者が乗り、他クラブとの一泊二日の交流会をしたことなどが懐かしく思い出されます。

小学校における図工科の時間数が減少したことにより、工具や道具の基本的な使い方が未熟な子どもが多くなっています。また、少年野球や少女バレーボールなどの社会体育や塾通いの影響により、物作りに興味があるのにそれに取り組む時間がなく、自分で物を分解したり色々な道具を使って組み立てたりする子どもたちが少なくなっています。

発明クラブは、「発想」や「創作」を重視して「創る」喜びを与えることを目的としています。基礎的な「道具の使い方」や「基礎工作」も取り入れて活動しています。自分のアイデアを生かして、指導員と一緒に家族が楽になるような物を考え、試行錯誤しながらこつこつと時間をかけて創作活動に取り組んでいる子どもたち。見本と同じように完成させることを第一と考え、正確に一生懸命工作活動に打ち込んでいる子どもたち。一年間で、完成した物には、自分の考えやアイデアが徐々に取り入れられていることに感心させられます。

クラブ員たちがこの発明クラブを通して、楽しく学びながら創造性を豊かに広げ、創る喜びを味わうことにより、将来いろいろな分野で活躍したり周りの人を幸せにしたりすることを期待しています。

## 完成の喜びを実体験で

指導員 中之内 肇



当発明クラブの中之内 肇でございます。今般、今までのクラブ活動について感想を報告させていただきます。

クラブ員の皆さんは、通常、学校生活では学ぶ機会の少ない講座を受けて、物作りを全員で制作しその完成の喜びの実体験が生まれる事と思います。

各講座には、各種材料材質及びそれらを加工する為の各種道具工具で、なれない手付きでその過程を学んでいます。

特に年1回の発明くふう展作品制作講座は、各自の発想・創造・ヒラメキ等では驚く内容の物やらで、クラブ員と各指導員で実現発表できるよう協力しています。

現在の社会状況は、物が余りにもありすぎて、子供たちが自前で「考える・創る・造る」の機会が少ないので参加しているクラブ員が興味を持ってトライしている姿は愉しそうで又頼もしく思います。今後とも誠に微力ではございますがよろしくお願いいたします。



## 子供は誰もがエジソン

指導員 春木 正己



教育界も政権交代で「新たな時代が始まる予感がします」日本が大きく変化しています。

「教育振興」=どこを目指して、いかにあるべきか？親の社会的地位や経済力に左右されることなく、子供の能力に応じて才能を、伸ばしてやらねばなりません。

現代は便利さだけを追い求めて、金銭至上主義と、お金さえあればと、子供のころから育ち、豊かな心を崩壊させた一因にもなります。ゲーム脳に育った平成っ子達、何事にも飽きっぽく嫌になると途中で投げ出してしまふ。そんな粘り強さのない子供達が増えているようです。

しかし、このような子供達も心の中では、努力を積み重ねながら少しずつ力をつけて自分の何かを、達成したいと思っているに違いありません。子供はみんな誰もがエジソンです。愉しいこと・新しいこと・知らない事・なぜだろう？どうしてなんだろう？子供達は好奇心のかたまりで非常に興味を示します。その心を何よりも大切にしたい指導を行っています。正に「少年少女発明クラブ」です。昔の子供たちは、自分で遊び道具を手作りで楽しんだものです。「学年」という枠を超えてふれあい、夢と希望を持って前向きに取り組み、発想・創造し、子供たちと意見を交え協力し合って作品を仕上げる苦労や、完成した時の喜びをともに味わえる様に、その架け橋となればと勉強しながら補助指導員として勤めて参りたいと思っております。

# 日本のこれからの ものづくりについて



指導員 森岡 達

私は、長い間、物づくりの技術部門で働いてきました。この間、大きく時代が変わり、特に多くの物づくりが、中国に移って行きました。日本では、もはや、かつての製造業は、戻ってこないであろう。しかし、資源を持たない日本では、知恵を使った物づくり以外に生き残る道はないと思います。ここ十年位は、過去の遺産で食いつないでいけるが、それ以降は、今すぐにも、対応が必要です。

少子化のこの時代に、一人でも多くの子供たちが、物づくりの楽しさや苦しさを経験することであると思います。発明クラブの指導員としては、私は、ピカピカの一年生ですが、学校では、あまり教えられない将来に大きな意味のある経験をしてもらいたいと思っています。

小学生の指導については、戸惑う部分も多い。特に、物に対する情報や生活経験の不足（基礎的な技術知識や計算力は当然としても）点をどのようにカバーするか？なかなか、思い付かないのが、現状です。

- ① 物や商品を分解して見せる。
- ② 分かりやすく物や、作り方などを教える。
- ③ 物に対する興味を持たせる。
- ④ 子供に考えさせる。
- ⑤ 作らせる。うまく行かなければ、それを改善させる。
- ⑥ 最後には、達成感を持たせる。

このような、目標、手順で指導を進めたいと考えています。

私は、昨年まで、多くの若い技術者と物作りを行ってきました。多くの有能な技術者の共通する点は、小・中学生のときに、何かを作ったことが、きっかけとなって、技術者を志したという人が多い。子供たちに、そのようなきっかけを作ることができればと思いながら参加しています。

## 新聞報道 ①

### あっと驚く発明を 新メンバー8人

津名町の少年少女発明クラブが、今年度の活動が始まる。18日、同町志筑のしづのたまき館で、今年度の発明教室がスタートした。この日は、発明協会の委員長の堀口純一氏が、新メンバー8人が、あっと驚くような作品を目指すと決意を述べた。

同クラブは、子どもたちの創造性を育てようと、同町が一九九〇年に設立。建築家や教員が講師を務め、町内の小学四～六年

津名町の少年少女発明クラブの開始式

## 新聞報道 ②

# 発明教室 作る楽しさ体験

### 今年度の活動始まる

少年少女発明クラブは、小学四～六年を対象に、工場の安全な使い方や科学的な物の見方を学び、独自の考えを作品に表現できるように育成するのが目的と、津名町発明協会本部・東京の協力で、津名町に次ぐ県内一番目として一九九〇年、津名町教委が発足させた。現在、全国で約百五十、県内では伊丹、姫路市を加え計四市町にある。

津名町のクラブの子供たちは、公民館や学校教諭らのボランティアから指導を受けながら、年間二十回の教室で、個々にアイデアを練り、図面をひくなどして、発明品を製作。昨年度はメンバーの一人が、犬を洗

津名の少年少女クラブ

物を作り出す楽しさを知ってもらおうと活動している「津名町少年少女発明クラブ」(会長・柏木和三郎町長)の二〇〇四年発明教室が十八日、同町志筑、しづのたまき館で始まった。この日の教室は、科学技術週間(二十八日)の一環として一般公開され、今年度の受講生として参加した九人が、牛乳パックの車作りに挑戦した。

う装飾を手付け、県発明協会長賞を受賞した。

この日、開始式で堀口純一(企画運営委員長)が一言激励を持ち、日帯使う物の改良を探し、作品に表し「速くなった」喜びの復元力を動力に生かした牛乳パックの車製作に挑戦。「車輪はすのこ板を、フィルムケースのふたは一枚重ねを安定する」などと工夫しながら、取り組んでいた。

一番最初に仕上げた町立志筑小学四年藤山直子さん(9)は「苦労はしたが、うまくできた。今後は、遊びが楽しくな発明したい」と話していた。

### 新聞報道 ③

2009年(平成21年)11月19日 木曜日 申 戸 業 斤

## 棒の先端にローラーを装着

# 背中への湿布張り楽々



淡路市・廣田君が器具発明

廣田君(6歳)が、社団法人発明協会(東京)の指導を受けながら活動が好きという得意「も」都が全国の分所で、これまでモーターやゴキブリなどの製作、運営する同クラブに入、マシンなどの制作励んできた。今年4月、毎月一回、元発明者であった。

淡路市・廣田君が器具発明

廣田君(6歳)の発明品「おじいちゃん使って」は、県くふう展で3位を受賞した。この装置は、背中への湿布張り楽々を実現する。棒の先端にローラーを装着し、背中を這わせることで、湿布を張りやすくなる。また、棒の先端にローラーを装着し、背中を這わせることで、湿布を張りやすくなる。また、棒の先端にローラーを装着し、背中を這わせることで、湿布を張りやすくなる。

### 公開発明教室

文部科学省が示している科学技術週間要綱に基づいた、科学技術週間の趣旨に沿って青少年参加行事を全国的に実施するよう推進することとなっています。淡路少年少女発明クラブでは、このような国の示す方針を受けて淡路市と一体となって公開発明教室を過去10年以上継続して開催しています。

年度	公開発明教室のテーマ	実施日	主幹指導員	参加人数 (クラブ員)
13	「グライダー」の製作	4月22日(日)	西川 玉士	25名
14	「ペーパークラフト」を作ってみよう	4月21日(日)	堀口 純	35名
15	「はりがね」でおもちゃを作ろう	4月20日(日)	堀口 純	28名
16	「竹ひごカー」の製作	4月18日(日)	堀口 純	20名
17	飛行物体に挑戦	4月23日(日)	梅原 隆之	19名
18	「空気鉄砲」「グライダー」の製作	4月22日(土)	小堀 禎員	22名
19	「竹ひごカー」の製作	4月22日(日)	堀口 純	20名
20	「おもしろ入れ替え人形」の製作	4月19日(土)	小堀 禎員	12名
21	「モーターカー」を作ろう	4月25日(土)	廣瀬 幸治	13名
22	「カラクリうちわ」の製作	4月24日(土)	小堀 禎員	16名

### 新聞報道 ④

2010年(平成22年)4月30日(金曜日) 意 管 業 斤

## 「発明クラブ」結成20年

### 17人参加 今年度活動スタート

子どもたちが自由な発想で工作する「淡路少年少女発明クラブ」が、今年度の活動をスタートした。科学的な物の見方を養う目的で結成して20年の節目を迎え、同クラブの堀口純副会長は「今後も、科学技術に関する知識や関心を高める指導を続けたい」と話す。

1990年結成の同会は、淡路市の小学3～6年生を対象に毎月1、2回、小学校教諭らを指導員に工作をサポート。特産の練香梅りなどの見学も行った。

い、今年度は児童17人が参加する。同市志筑の市立中央公民館での開始式・公開教室では、CDやDVDの「うちわ」に、4時四方の紙箱4個を取りつけた「からくりうちわ」作りに挑戦した。うちはわの絵が入れ替わる仕組み。児童らはアンパンマンなどを描いた箱を作り、慎重にひもでうちわにつけた。同市立北淡小6年の飯田修右君(11)は「自分のアイデアを表現できるから工作が大好き。今度は城の模型を作ってみよう」と話した。

17 地域

# 淡路

淡路市長

## アイデア工作風景



カラクリうちわの型どり（公開発明教室）  
保護者も一緒に参加



アイデアカレンダーの製作（小堀指導員）



西川指導員



中之内指導員



実野指導員



技術室（発明クラブの会場）



保護者と意見交換



保護者と意見交換



森岡指導員



石井指導員



工夫点を保護者に相談



上手になった鋸の使用

## 島内・島外体験学習



IPカルチャー教室 プロペラカーの競技(1)



IPカルチャー教室 プロペラカーの競技(2)



カワサキワールド・神戸海洋博物館見学



神戸市青少年科学館・発明工夫展見学



竹ひごカーの製作



IPカルチャー教室 社発明協会本部  
日本橋発明クラブの指導員を招いて  
アイデア工作



大阪湾海上交通センター見学



大阪湾海上交通センター見学



日学補助金事業「グライダー」の製作



グライダー飛行競技会



神戸市青少年科学館・発明工夫展見学

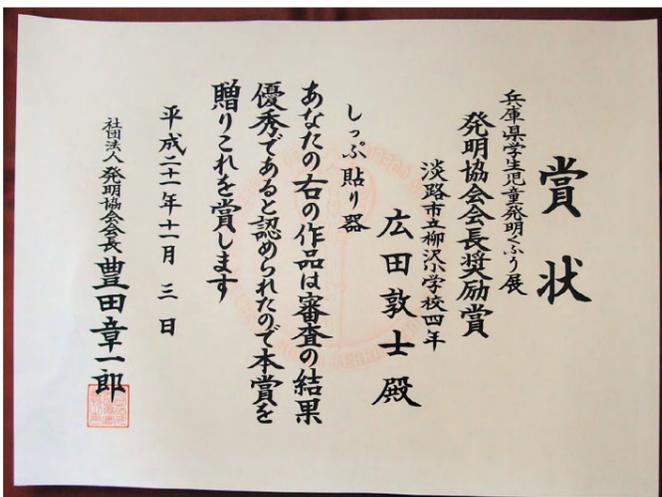


ミツ精機株式会社見学

## 受賞記録

平成21年度 全国学生児童発明工夫コンクール『入賞』  
 平成21年度 兵庫県学生児童発明工夫コンクール  
 『発明協会会長奨励賞』（兵庫県の3位）

発明の名称『しっぶ貼り器』 発明者 広田 敦士 君（淡路市立柳沢小学校4年生）



平成20年度 兵庫県学生児童発明工夫コンクール『特賞』

発明の名称『ゴミを分けて窓からポイ』  
 発明者 片岡宗一郎 君（淡路市立生穂第一小学校3年生）

僕が考えた  
 発明が特賞！  
 平成20年度兵庫県学生児童発明く  
 ふう展表彰式が11月3日、神戸市立  
 青少年科学館で行われ、淡路少年少  
 女発明クラブから出展していた次の  
 作品が特賞を受賞しました。  
 受賞者は次のとおりです。  
 ◆社団法人発明協会兵庫県支部奨  
 励賞  
 「ゴミを分けて窓からポイ」  
 片岡宗一郎くん  
 （生穂第一小4年）

なお、淡路少年少女発明クラブは、  
 昨年引き続き2年連続で特賞を受賞し  
 ました。



平成19年度 兵庫県学生児童発明工夫コンクール『特賞』

発明の名称  
 『熱中症防止帽子（携帯用）』  
 発明者 尾上 貴志 君  
 （淡路市立大町小学校3年生）

発明の名称  
 『一石二鳥おたま』  
 発明者 米山 夢 さん  
 （淡路市立浦小学校3年生）



前列左端が広田敦士君  
 神戸市青少年科学館にて



## 全国会議

北海道から沖縄まで全国205のクラブの会長、運営委員、指導員、事務局発明協会本部、支部のみなさまが参加されます。

開催地の県知事様、市長様を来賓にお招きし祝辞をいただき会議が始まります。毎年会議の内容は少し異なりますが、ここではその年度に新しく生まれたクラブの紹介、指導員が新しく製作した工作キットの紹介、発明協会が主催する事業の説明、協議会の開催、クラブ間の運営指導のノウハウや意見交換会が行われます。このほか発明工夫創作展の視察、地方の特色ある事業所、施設の訪問などがあります。年間2回開催されていますが、当クラブから秋に開催の会議に2名参加し、運営指導上に必要な知識の吸収や開催地のクラブに訪問し、実地に設備、組織指導員の指導内容、クラブ員募集方法などを調査します。



石川県金沢会場にて  
梅原運営指導員(左)  
堀口副会長(右)

## 近畿ブロック会議

近畿2府4県の少年少女発明クラブの指導員、事務局、発明協会支部の方が参加しています。発明協会本部からの事務連絡事項、質疑応答のほか研修を目的とした講演会が開催されます。本部が主催する競技会の開催内容の詳細説明、大阪支部を中心とした単位の競技会の実施方法の説明なども実施されます。年1回開催されますが、当クラブからは指導員1名、事務局1名の2名が参加しています。



和歌山県 和歌山市会場  
左から  
小堀指導員  
春木指導員  
水本県発明協会専務理事  
堀口副会長

## 指導資料集

クラブの教室で使用した資料です

### はじめに

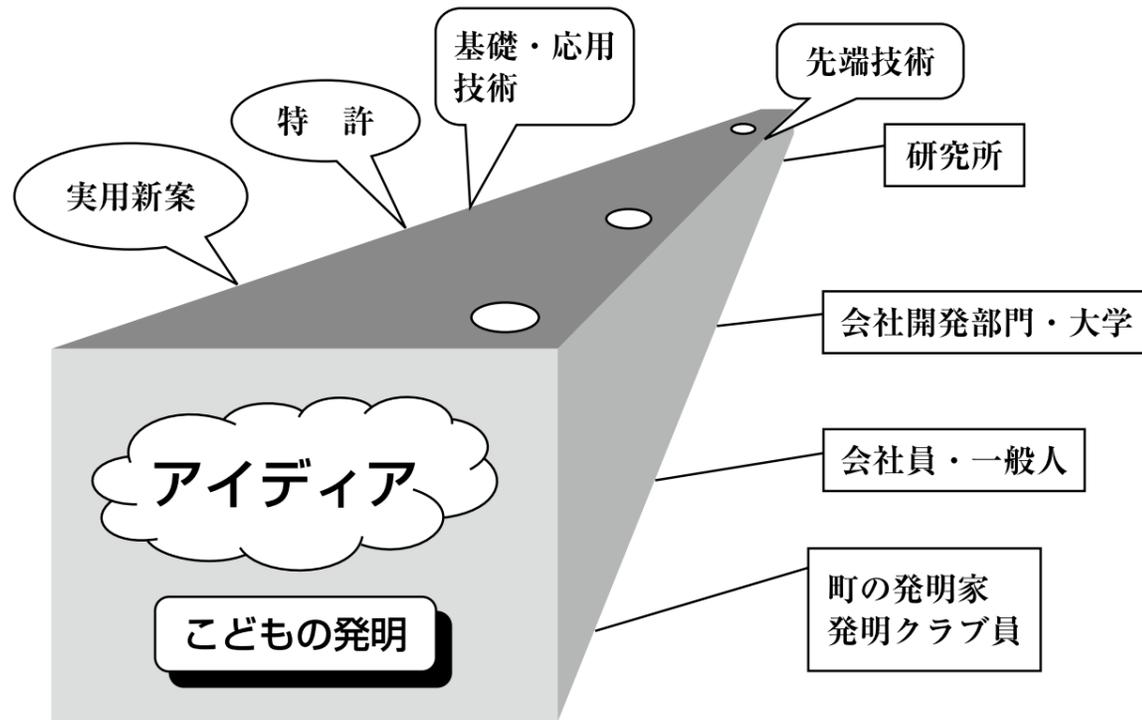
#### ○ 発明クラブに入部した理由(わけ)は？

- もの作りをしたい。
- 工作が大好き。
- 道具の使い方や工作をおしえてくれるから。
- いろいろなアイデアを出して発明品をつくりたい。
- 友だちにさそわれ、クラブがおもしろそうだから。
- お父さん、お母さんにすすめられたから。
- 休みの日に自分に役立つと思うことをしたかったから。
- 去年クラブにきて楽しかったから。
- 大人になった時、発明の勉強をして役立てたいから。
- ほかに自分にあう適当なクラブがなかったから。
- スポーツより工作が得意だから。
- 工場見学や科学館に連れて行ってもらえるから。

#### ○ 発明のことで知っていることを教えて下さい。

- △ 発明でないものとはどんなものでしょう。
- △ 発明とは何でしょう自分の思うとおりにせつめいしてみましょう。
- △ 自分で発明したことはありますか。(何でも良いです。)
- △ エジソンという人について何か知っていますか。
- △ ノーベル賞について何か知っていますか。

## 発明の空間について



## 発明を生むステップ

- 過去の経験・知識を豊富に持つこと。
- 不便さや不自由さを見つけること、感じ取ること。
- 「何とかしてあげたい」という動機付け（モチベーション）。
- 何が出来、何が出来ないか：「観察」をしっかりとします。
- 何をどうしたら便利か。
- 何から解決したらよいか。（最初に始める順番を考える）
- 何としてでもやり抜く粘り、人々に役立つという使命感。
- 動機付けは発想のための「根」とも言えます。多少の困難があっても乗り切ることができると思います。
- 解決のために今までどのようにしてきたのか（類似技術）の調査。
- 自分でイメージした物の類似品があるのか、外部情報の収集。
- 集めた資料を十分検討することが必要です。

## 発想のステップ

### — 準備(熟考) — あたため — ヒラメキ — 検証

(説明は省略、口頭せつめいとします。)

準備・あたための段階では考えに疲れ、行き詰まる時もあります。そのような場合「ナインチェックリスト」を使用し、角度を変えて考えてみましょう。

- 転用 — そのままで新しい用途はないか？  
改造して他の使い道はないか？  
本来の使用目的以外に、他の目的に使えるか？
- 応用 — 何か似たものはないか？（過去も含む）  
何かのマネは？
- 変更 — 知識・経験を他のことにあてはめて活用できないか？  
意味・色・動き・音・匂い・様式・型を変化させる。  
変えたり・改めることで新たに変化させることは出来ないか？
- 拡大 — 追加・時間・頻度・強度・高さ・長さ・価値・材料  
複製・誇張  
現状より大きくした場合どうなるか？
- 縮小 — 減らす・小さく・濃縮・低く・軽く・省略・分割  
内輪  
現状より小さくした場合どうなるか？
- 代用 — 人を・物を・材料を・製法を・動力を・場所を  
ある物の代替として考えてはどうか？
- 再配列 — 要素を・型を・レイアウトを・順序を  
因果を・ペースを  
順番がこれで良いのか？組み順を変えたらどうなのか？
- 逆転 — 反転・前後転・左右転・役割転換  
上下を変える  
反対に回転したらどうなるか？今までと反対の状態にしたら？
- 統合 — ブレンド・合金・ユニット・目的を  
単独のアイデア同志を結びつけたらどうなるのか？大いに悩み考えに考えを重ねることで。決して急がず、考えに詰まったら休むことも必要です。一日でも一週間でも一ヶ月でも、しかし決して諦めないことです。苦しむのではなく、楽しい気分になりたいものですね。



# 危険予知トレーニング

工作を行うには、自分の手だけでなくいろいろな道具、工具、装置などを使います。あつかいかたを間違えると大変「きけん」であり場合によっては「けが」などすることがあります。また、道具類からだけでなく「使用する材料」の扱い方にも注意が必要です。(ガラス、切断後の「バリ」、新しい紙など)

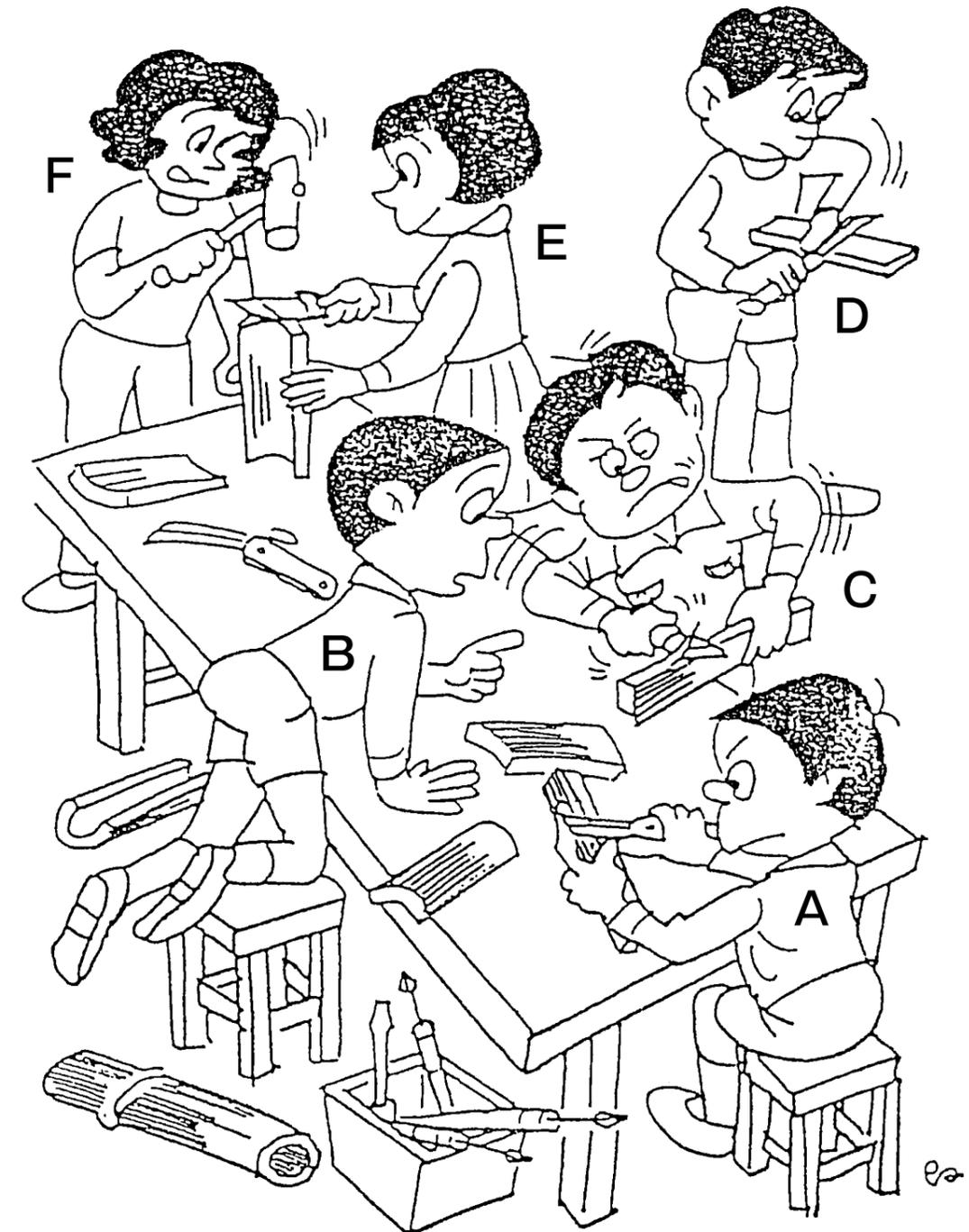
危険な環境の中で「安全な工作」を行うには、工作する皆さんの心構えや態度、他の人にたいする思いやりなどが大変重要になります。

どのような危険があるのか、次に書いてみました。よく心得てこれからの工作に取り組んでください。

## 実際に起こりうる危険の事例

1. 切り傷 (例: カッターナイフ、切り出しナイフ、ハサミ)
2. 刺し傷 (例: キリ、針金)
3. はさみ傷 (例: はさみ、ペンチ)
4. やけど (例: はんだごて、スチロールカッター、熱湯)
5. 有害ガスの吸引・付着 (例: 接着剤、燃焼ガス(花火))
6. 光線の直射・強射 (例: 太陽光線、溶接光線、レーザー光線)
7. 騒音、振動音、超音波、低周波音 (例: 電動鋸、洗浄器、変電所)

## みんなで考えよう



どこがあぶないかな？

(状況) みんなそれぞれ竹トンボを作るのに夢中になっています。

## 個人別発明工夫指導指針

淡路少年少女発明クラブ 作成：H22. 6. 29 堀口

ステージ	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X
教室実施日	5・8									
		5・22								
			6・12							
				6・26						
					7・10					
						7・24				
							8・14			
								9・11		
									9・25	
	発送									
カリキュラム	①発明とは何か②発明品の説明③アイデアを出すには④道具の種類と使い方⑤KYTについて									
	①不便を感じたこと②楽をする方法③図面に書いてみよう④名称をつけよう									
	①アイデアのテーマを絞る②図面を完成する③必要な部品を考える									
	①試しに作ってみよう②出品表の配布									
	①作品を完成しよう②作品の改良をしよう									
	①改良をさらに進めよう									
	①作品の機能を確認めよう									
	①機能を高めよう									
	①出品表の作成									
	発送									
指導内容	①個人別担当指導員の固定									
	②材料手配、図面完成度確認（初回）									
	①試作品製作補助指導、図面完成度確認（第2回）									
	②発明のポイント確認（2点以上を明文化、従来品との作用効果の差を明確化）									
	③改善の提案（作用効果を高める設計変更）									
	①試作品製作補助指導、図面完成度確認（第3回）									
	②発明のポイント確認（従来品との作用効果の差を明確化）									
	③改善の提案（作用効果を高める設計変更）									
	①出品表の基礎項目調査（発明内容以外の項目）									
	②発明品の製作補助指導									
指導上の注意点	ポイント									
	1. シンプルいずベストの考え方でスタート									
	2. 不便、楽でなかった従来品を固定（従来技術を明確にしておくこと：仮定でも可）									
	3. 巨大なもの（一辺50cm以上）は避けた方がベター									
	4. 確実に動作し（常に再現性が保たれる）その効果を提供できていること									
	5. テーマ変更は、ステージ3までに止めておくこと（複数のアイデアが既にだされていた場合）									
	6. 担当指導員は、クラブ員の発明品完成品の責任を負うこと（放棄、中断の禁止）									

## 平成22年度兵庫県学生児童発明コンクール作品製作指導担当表

平成22年6月12日 淡路少年少女発明クラブ 堀口

担当指導員	クラブ員名（上段）		
	発明の名称（下段）	発明の名称（下段）	発明の名称（下段）
西川	奥井	高田	今北
	伸縮モップ	簡単米とぎ機	はと追い出し器
春木	植松(弟)		
	修正ペン付きボールペン		
石井	池尻		
	折りたたみ椅子&かばん		
堀口	飯田	植松(兄)	廣田
	ハンディ手洗い器	簡単キャップはずし器	ジャンプ用遊具
中之内	谷	仲井	
	エコ扇風機	金魚エサやり機	
森岡	松田	藤本	
	照明付き傘	万能掃除用具	
廣瀬	城田	庄司	
	すきま掃除機	消しゴムのカストリ器	

※1

※2

※3

※4

※5

※6

平成22年度 発明工夫指導進捗状況表

平成22年6月29日 現在 淡路少年少女発明クラブ

氏名	学校名	学年	発明の名称	担当指導員	適用する自然法則等	検討課題	題
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							

平成2年7月 発足式記念写真



平成22年7月 20周年記念式典写真



## 編集後記

この冊子の編集開始は、22年3月末でありました。記念誌に沢山ご寄稿頂き発行に花を添えていただきまして心よりお礼申し上げます。編集子は、知識乏しく薄学のため一瞥して間違いやら不備など多々あろうかと気をもんでいます。どうか失礼の段御座いましたら後の祭りと言わずにご指摘いただきたくお願い致します。他の記念誌など参考にしたいところでしたが、記事の味付け期間が余りありませんでしたので、客観的データを主に掲載することで、お茶を濁す結果となりました。したがって、ページ数は多いのですが、物足りなさを感じさせる事と思います。

毎月、月末にお集まりいただきましたが、4回の編集会議で発行となりました。10周年記念誌と約似た編集形態となっています。

この冊子以外に、資料編として①10周年記念誌、②わたしと発明、③発足式の資料、④指導教材などと少し写真関係を追加して発行予定としています。(これらはDVD版となる予定)

最後になりましたが、編集会議にご参加いただきました西川、石井、春木、中之内、小堀の各先生方、事務局：安藤さまの積極的なご意見ご協力を頂きまして本当に感謝いたしております。失礼かと存じますが、誌面をお借りしましてお礼申し上げます。

副会長 堀口 純

### 淡路少年少女発明クラブ創立20周年記念誌

(初版) 平成22年7月11日

発行者 淡路少年少女発明クラブ  
〒656-2131  
兵庫県淡路市志筑3117-1 淡路市立中央公民館内(事務局)  
TEL 0799-62-0157 FAX 0799-62-6844

印刷所 後藤印刷所  
〒656-1531  
兵庫県淡路市江井2844-4  
TEL 0799-86-0072

不許複製

定価 1,000円(消費税込)

